

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

広島県 東広島市

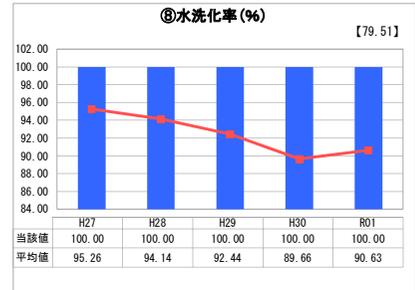
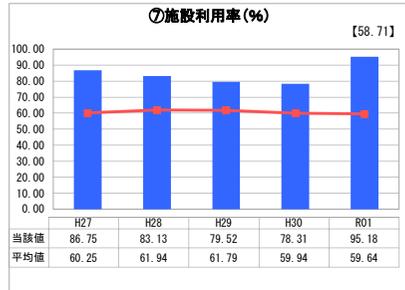
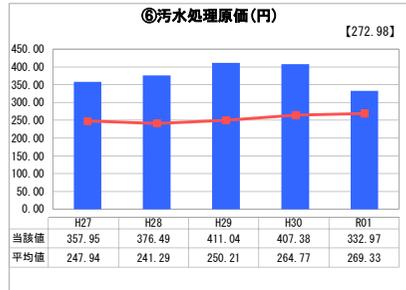
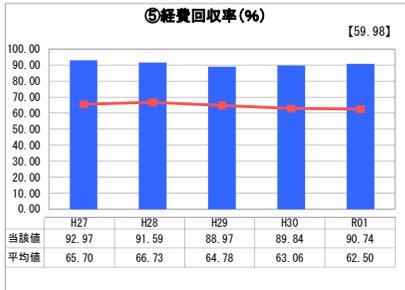
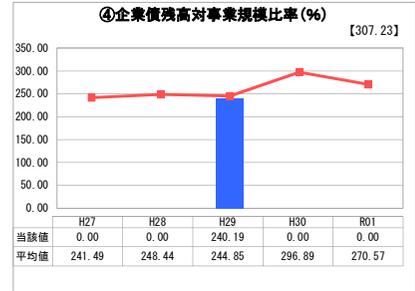
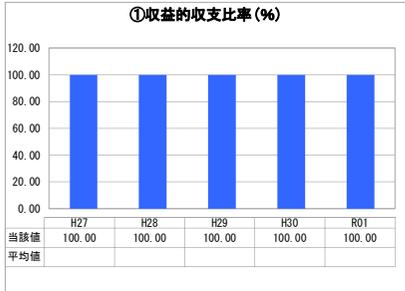
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	0.17	100.00	5,120

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
188,779	635.16	297.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
317	13.43	23.60

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

・経費回収率は90%前後で推移しており、類似団体の平均値を上回っている。使用料収入確保のため、今後も未収金の回収に努める。

・汚水処理原価は全国平均を上回っているが、1人あたりの汚水量原単位を使用実態に合わせて見直しを行った結果、前年度より低下した。維持管理費の削減については、今後も取り組んでいく。

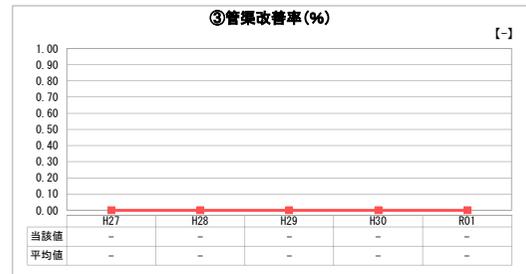
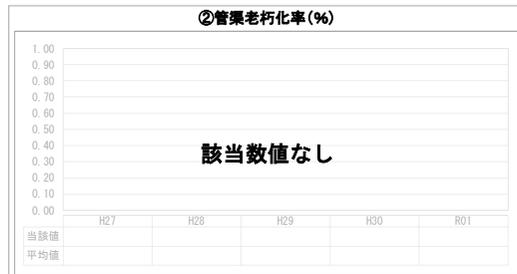
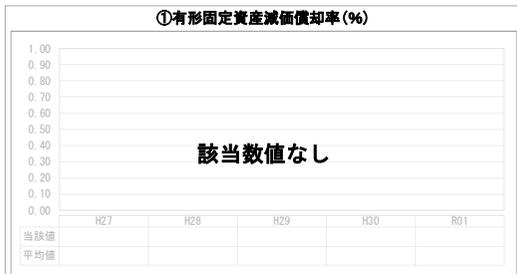
・施設利用率は、1人あたりの汚水量原単位を使用実態に合わせて見直しを行った結果、前年度より向上した。ただし、今後の人口減少により施設利用率の減少が懸念される。

・水洗化率は100%であり、本事業の目標は達成している。

### 2. 老朽化の状況について

本市の特定地域生活排水処理事業は、平成13年の整備から約20年が経過するが、今後10年程度は浄化槽の更新を行う見込みはないと考えられる。なお、フロアなどの部品・消耗機器の交換（修理）は定期的に行う必要がある。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

これまでも必要に応じて使用料の改定を行っている。今後の人口減少による施設利用率の低下や、維持管理費の増が懸念される。令和2年度中に経営戦略を策定し、今後は経費回収率を100%にすることを目標とし、計画的かつ合理的な経営に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。